

進路指導だより



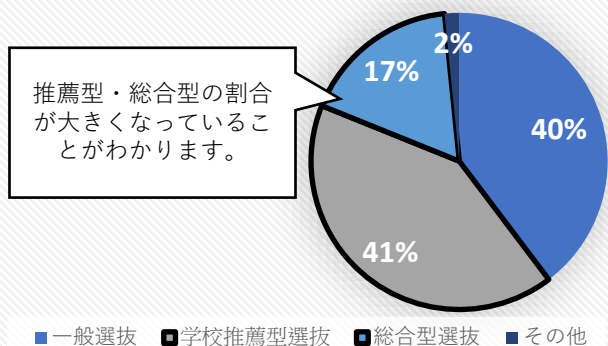
10 月号

進学 大学入試シーズン本格化！

商業高校からの進学は“経験と考え”が評価される！”あなたらしさ”が決め手！

9月～10月は、**総合型選抜**や**学校推薦型選抜**（指定校推薦など）の出願や受験が始まる時期です。本校のから大学進学を目指す生徒のほとんどがこれらの入試方法で受験をします。近年の大学入試は、全体的な傾向として「学力試験だけ」ではなく、多面的・総合的な評価が重視される傾向が強まっています。

選抜方式別に見た入学者の割合（私大）



【これらの選抜で評価されるポイントの例】

- ・ **検定試験**の上位級取得（全商1級・日商2級）
 - ・ **部活動**や**課外活動**での経験
 - ・ 各種**コンクール**（電卓の大会出場など）での実績
 - ・ 各種**ビジネスプランコンテスト**での実績
 - ・ その他、リーダーシップを発揮した経験
 - ・ 社会課題に対する自分なりの考えや意識
 - ・ プレゼンテーション能力
- （自分の強みや考えをどう表現できるか） etc...



◆商業高校生だからこそ受けられる入試一例◆

※①…1級を示す

- (例) 近畿大学 経営学部「総合型選抜B(7' ロフショナル型)」 **全商簿記① OR 全商情処① OR 全商英検①** のいずれかが必要
- (例) 大阪経済大学「商工系資格評価型選抜」 **各種資格が得点化される**
- (例) 摂南大学「専門学科・総合学科出身者入試」 **各種資格が得点化される**
- (例) 関西大学 商学部「商学部公募制推薦」 **評定4.0 & 全商簿記① & 全商英検①**
- (例) 京都産業大学「専門学科等対象公募推薦入試」 **評定4.0 & 全商簿記① OR 全商情処①** など
- (例) 大阪商業大学「全商協会特別推薦」 **評定4.0 + 各種検定試験多数取得 ★4年間学費半額**
- (例) 関西大・関西学院・同志社・立命館「全商協会特別推薦」 **評定4.0 & 全商英検① & その他1級多数（5つ以上程度）**

これらの試験では、面接試験・小論文・簿記のテストなどが課されることがほとんどです。早めの対策がマスト！

就職 9/16～就職試験始まる！

就職試験も筆記テストあるってマジ！？

高校生の就職試験は全国一斉、9月16日から始まります。本校からも今年は54名の3年生が就職試験を受験しています。**すべての会社で面接試験が行われているので、なんとなく面接対策はしなきゃな～**というのは頭にあるでしょうが、それに加えて、多くの企業で筆記試験が課されています。

厚労省の調査によると、**約8割の企業が面接以外に筆記試験(一般常識、作文、SPIなど)や適性検査を実施**しています。つまり、面接対策だけでは不十分で、日頃からの学習習慣や社会への関心、自分の考えを表現する力が問われるということです！

情報 ～進路×社会の数字～

若者の早期離職が社会問題に

- ・ 高卒就職者の3年以内離職率：**38.4%**
- ・ 大卒就職者の3年以内離職率：34.9%

(厚生労働省,2024)

ある機関の調査によると、**離職後に正社員として再就職できる割合は4割程度**ととても低く、残りは非正規雇用（アルバイトなど）に流れるケースが多いと指摘されているようです。

自分がどんな仕事に就きたいのか、どんなことをしている会社に勤めたいのか、きちんと考えて会社選びをしたいですね！

コラム「三浦、おフランスに行く」

この夏、コロナ渦以来途絶えていた海外旅行をようやく再開、2006年以來19年ぶりにフランスに行ってきました！ 南仏は古都アヴィニョンを拠点に、ゴッホの黄色も鮮やかな街アルル、セザンヌの街エクスアンプロヴァンスなどをめぐり、パリも訪れました。さすが芸術と美食の国フランス、どこもすばらしい体験でしたが、同時に、同国での日本の存在感の希薄さに気づきました。南フランスでは日本人を見かけることはまれで、空港や観光地の案内板に併記されていた日本語は、中国語にとってかわられていました。食事に行けばごくカジュアルなレストランでも、2品も頼めば飲み物と合わせて軽く1万円に迫ります。世界中から観光客を引き寄せるこの国では、現在それが相場ということなのでしょう。調べると2006年の1ユーロは140円前後、私が行ったときは173円、日本円の弱さを思い知る旅でした。翻って日本では、インバウンドが大盛況、これは一面では日本が海外の人々にとって「安く遊べる国」になったということなんですね。もちろん為替レートだけで一国の経済力を測ることはできませんが、やはり円安と低成長によって海外旅行のハードルがあがったことは悲しい。そこでこれから社会に出て働く皆さんに、今一度日本をよみがえらせてほしいと大いに期待するにいたった今回の旅でした…。

